



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名 株式会社日本M&Aセンター 上場取引所 東
 コード番号 2127 URL <https://www.nihon-ma.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 卓
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 檜木 孝磨 (TEL) 03-5220-5454
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,157	15.1	12,853	18.7	13,003	20.1	9,048	18.2
2019年3月期第3四半期	22,717	13.8	10,825	4.5	10,829	3.9	7,652	4.4

(注) 包括利益2020年3月期第3四半期 9,016百万円(20.8%) 2019年3月期第3四半期 7,464百万円(△0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	55.83	55.27
2019年3月期第3四半期	47.58	46.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	43,249	34,936	80.6
2019年3月期	35,638	27,264	76.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 34,854百万円 2019年3月期 27,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00
2020年3月期	—	11.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,400	13.8	13,500	7.7	13,500	7.7	9,120	2.8	56.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	166,050,800株	2019年3月期	163,855,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,002,404株	2019年3月期	3,002,368株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	162,062,543株	2019年3月期3Q	160,849,510株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、当第3四半期連結会計期間（2019年10月1日～2019年12月31日）において224件（譲渡・譲受は別カウント）のM&A仲介を成約いたしました。

これにより当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）における成約件数は743件となり、前年同期実績の605件から138件（+22.8%）増加し、第3四半期連結累計期間における過去最多の成約件数となりました。

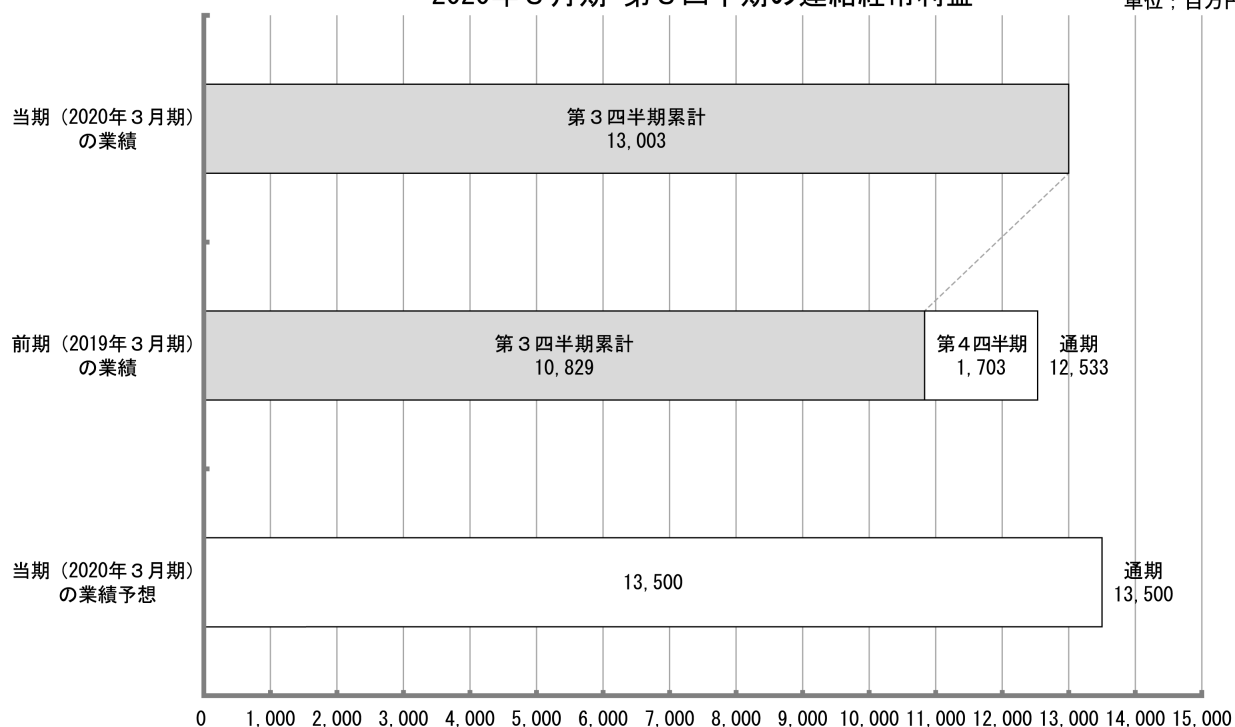
この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、下表のとおり前年同期実績を、営業利益で18.7%、経常利益で20.1%、親会社株主に帰属する四半期純利益で18.2%上回る実績となり、通期（年間）の業績予想利益の進捗率も営業利益で95.2%、経常利益で96.3%、親会社株主に帰属する四半期純利益で99.2%に達する業績進捗となりました。

他方、好調な案件成約に加えて、案件受託も好調に推移しており、豊富な受託残を擁して当第3四半期連結累計期間を終えることができました。

	通期（年間）の 連結業績予想	当第3四半期 連結累計期間の 実績	前第3四半期 連結累計期間の 実績	通期の 連結業績予想 の進捗率	前年 同期比
売上高	32,400百万円	26,157百万円	22,717百万円	80.7%	+15.1%
営業利益	13,500百万円	12,853百万円	10,825百万円	95.2%	+18.7%
経常利益	13,500百万円	13,003百万円	10,829百万円	96.3%	+20.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9,120百万円	9,048百万円	7,652百万円	99.2%	+18.2%

2020年3月期 第3四半期の連結経常利益

単位：百万円



当社グループは、2017年10月に「2022年3月期までに連結経常利益150億円を達成」という新たな第3期中期経営目標を立案し、同時に当該新中期経営目標に新株予約権の権利行使条件を直接リンクさせた新株予約権（有償ストック・オプション）を発行いたしました。

第3期中期経営目標期間の2年目に当たる当連結会計年度においては、連結経常利益の通期業績予想値を135億円とし、期初より積極的な営業活動を展開した結果、上記のとおり当第3四半期連結累計期間において通期業績予想の進捗率を96.3%まで到達させることができました。

当第3四半期連結会計期間の営業企画としましては、当連結会計年度より実行しております当社グループの新たな地域エリア戦略に基づくセミナー展開に注力いたしました。

当連結会計年度は、例年であれば東京、大阪、名古屋、福岡といった大都市圏のみで開催していた大規模セミナーを廃止し、それに代えて、各地方ごとにそのエリアを細分化し、その主要都市を連日、短期集中的にセミナー展開しております。

当第3四半期連結会計期間においては、11月に東北エリア7会場にて実施したほか、愛知、大阪、福岡の各エリアでもセミナー展開いたしました。

上記の地方エリアセミナーの展開により、更に細かく地場の事業承継ニーズを汲み上げ、企業数や就業人口の減少に直面するそれぞれの地域経済の活性化に貢献いたします。

上記の地方エリアセミナーのほかにも、製造業界、給食・弁当業界、製パン業界、物流業界、食品卸業界、医療業界といった各種業界向けに専門特化したセミナーを多数開催いたしました。

これらのセミナーにより受託した案件を次四半期以降の成約に結び付けるべく現在活動しております。

また、当社グループの情報ネットワークの中核である会計事務所についても、会員数を拡大することができました。2018年12月末時点の853事務所から50事務所の増加に成功し、903事務所となっております。

2019年10月には「日本M&A協会理事総会」を山形にて開催し、理事会員会計事務所を中心に多くの会計人の方々にご参集いただきました。当総会におきましては、積極的にM&A業務に取り組まれている会計事務所から具体的な取組み事例・成約事例をご紹介賜り、会計事務所ならではのM&A業務の取組み方のノウハウをご共有いただきました。また、RPAを活用した業務効率化等、最先端の会計事務所経営を実現している会計事務所からその取組状況等をご披露いただきました。

後継者問題の深刻化や業界再編が加速する中、今後ともより多くの中堅中小企業の経営者の方々にM&Aによる企業の存続と発展のためのソリューションを提供すべく、引続き積極的な営業活動を展開いたします。

なお、2020年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的状況については、2020年3月期第1四半期決算短信（2019年7月30日開示）を、2020年3月期第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的状況については、2020年3月期第2四半期決算短信（2019年10月30日開示）をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

純資産合計は、34,936百万円となり、前連結会計年度末に比べて28.1%の増加となりました。

① 資産の部

流動資産は、29,886百万円となりました。これは、現金及び預金が10,138百万円増加し、売掛金が2,254百万円増加したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて70.9%の増加となりました。

固定資産は、13,362百万円となりました。これは、長期預金が5,000百万円減少し、投資有価証券が155百万円増加したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて26.4%の減少となりました。

これらにより、資産合計は、43,249百万円となり前連結会計年度末に比べて21.4%の増加となりました。

② 負債の部

流動負債は、6,947百万円となりました。これは、買掛金が520百万円増加し、未払費用が480百万円減少したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて6.9%の増加となりました。

固定負債は、1,365百万円となりました。これは、長期借入金が500百万円減少したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて27.1%の減少となりました。

これらにより、負債合計は、8,313百万円となり前連結会計年度末に比べて0.7%の減少となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、34,936百万円となりました。これは、主として利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加額9,048百万円及び配当金の支払による減少額3,723百万円により、5,324百万円増加し、新株予約権の行使により資本金が1,192百万円、資本剰余金が1,192百万円増加したことなどによります。この結果、前連結会計年度末に比べて28.1%の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日発表の通期の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,495,555	23,633,822
売掛金	2,049,067	4,303,806
有価証券	1,700,000	1,700,000
前払費用	200,286	154,750
その他	43,372	94,225
流動資産合計	17,488,282	29,886,604
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	324,442	331,479
その他(純額)	155,640	173,028
有形固定資産合計	480,083	504,508
無形固定資産	25,402	151,360
投資その他の資産		
投資有価証券	2,568,089	2,723,648
繰延税金資産	354,120	207,682
長期預金	14,000,000	9,000,000
その他	722,303	775,652
投資その他の資産合計	17,644,512	12,706,983
固定資産合計	18,149,998	13,362,851
資産合計	35,638,280	43,249,456
負債の部		
流動負債		
買掛金	423,988	944,143
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払費用	1,357,176	877,071
未払法人税等	2,343,921	2,101,398
前受金	114,188	85,552
預り金	190,790	370,312
賞与引当金	160,442	45,114
役員賞与引当金	—	312,000
その他	909,018	1,211,591
流動負債合計	6,499,526	6,947,183
固定負債		
長期借入金	1,500,000	1,000,000
長期未払金	374,441	365,894
固定負債合計	1,874,441	1,365,894
負債合計	8,373,967	8,313,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,383,090	2,575,576
資本剰余金	1,228,558	2,421,043
利益剰余金	29,203,235	34,528,192
自己株式	△4,962,165	△4,962,264
株主資本合計	26,852,718	34,562,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291,018	291,645
その他の包括利益累計額合計	291,018	291,645
新株予約権	46,806	35,678
非支配株主持分	73,769	46,506
純資産合計	27,264,313	34,936,378
負債純資産合計	35,638,280	43,249,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	22,717,619	26,157,359
売上原価	8,359,649	9,434,719
売上総利益	14,357,970	16,722,639
販売費及び一般管理費	3,532,881	3,869,353
営業利益	10,825,089	12,853,286
営業外収益		
受取利息	257	329
受取配当金	6,142	13,081
持分法による投資利益	2,147	105,512
投資事業組合運用益	1,320	33,852
その他	2,337	3,029
営業外収益合計	12,205	155,805
営業外費用		
支払利息	5,674	4,021
為替差損	865	88
その他	1,000	1,192
営業外費用合計	7,540	5,303
経常利益	10,829,755	13,003,788
特別利益		
投資有価証券売却益	—	143,987
特別利益合計	—	143,987
特別損失		
投資有価証券評価損	—	899
特別損失合計	—	899
税金等調整前四半期純利益	10,829,755	13,146,876
法人税、住民税及び事業税	3,059,987	3,982,661
法人税等調整額	117,268	148,062
法人税等合計	3,177,255	4,130,723
四半期純利益	7,652,499	9,016,152
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△32,263
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,652,499	9,048,415

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,652,499	9,016,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188,405	627
その他の包括利益合計	△188,405	627
四半期包括利益	7,464,094	9,016,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,464,094	9,049,042
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△32,263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金および資本剰余金がそれぞれ1,192,485千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が2,575,576千円、資本剰余金が2,421,043千円となっております。